

住友化学 i-農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第61号 1月29日
発行 住友化学(株) アグロ事業部
お客様相談室 0570-058-669
発行責任者 古津 昇

目次

新年のご挨拶	p.1
農家さん訪問記(46)	p.2
住友化学アグログループ紹介 住化農業資材(株)	p.7
食の安全性について考える(15)	p.8
今月のお奨め農薬	p.9
今月のご相談から	p.10
お役立ちプチ情報	p.11
農薬登録情報	p.12
病害虫発生情報	p.13
最近の「お・・美味しい!」	p.14
コラム・そば談義	p.15
編集後記	p.15



ヤマハシ(カノ科)とマヒワ(アトリ科)

新年のご挨拶

住友化学(株) アグロ事業部長 貫 和之



寒さ厳しき折、本誌読者の皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

元旦から瞬くまに一ヶ月が経ちましたが、改めて新年のご挨拶を申し上げます。

さて、世の動きが大きく変わり、いま世界で一番元気な地域はアジアです。そのなかでも、中国・インドの経済発展は目覚しく、中国は自動車の販売台数で米国を抜いて世界一となりました。また、台湾や中国では日本の新幹線技術が評価され、それを導入して建設された高速鉄道が颯爽と走っています。近々、ベトナムでも計画されているようです。

このように飛躍的に発展を遂げるアジアの国に一番近い先進国は日本であり、農業を除く各分野の企業はこの立地条件を活かして、輸出や現地への進出を急拡大しています。

農業もこの好条件に手をこまねいてはもったいないと思います。本誌連載の「農家さん訪問記」に登場して戴いた富山県のチューリップ生産者の伊藤さん(青年実業家)が構想されている「環太平洋の国々にチューリップを高岡港から輸出したい」という夢が、手の届くところまで来ているような気がします。

弊社も『農業経営者に対して、農薬・肥料・資材から関連技術や農産物販売まで総合的に提案、支援していく』という大きな夢に向かって、i-農力会員様と共に前進していこうと思います。

では、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

伊藤さんの記事は - 農力だより第51号「農家さん訪問記(36)」に掲載されています。

[目次へ戻る](#)

農家さん訪問記(46)

今回の農家さん訪問は、秋田県由利本荘市久保田で、こだわりの秋田米「うぐいす初恋物語」を栽培している株式会社ファーム鶯（うぐいす）を訪ね、お話を伺いました。

（取材日 2009年12月8日）

若手が安心して従事できる農業経営を！

株式会社ファーム鶯のある久保田地区は、子吉川流域の肥沃な農業地域で、南に名峰・鳥海



三浦雄一さん(左)と佐林勝彦さん

山を臨み、春にはウグイスが鳴き、夏にはホタルの乱舞が楽しめる自然豊かな地域です。会社の目の前を流れる久保田川は、子吉川のごく小さな支流なのですが、毎年鮭が遡上します。訪問時には、残念ながら鮭の遡上時期は終わっていましたが、力尽きた鮭が何匹か川底に横たわっていました。

今回の訪問では、顧問の三浦雄一さん（62歳）と、栽培部長の佐林勝彦さん（58歳）にご案内いただき、お話は主に三浦さんに伺いました。

三浦さんは、2年前まで秋田県の農業改良普及員として勤務されていました。退職後に、池田薬品商事株式会社の顧問に就任されました。その後、ファーム鶯の顧問を引き受け、現在は2社の顧問を兼務されています。

前社長の志を継いで全員経営！

株式会社ファーム鶯は、前の代表取締役である木村耕一さんの「これからの時代の農業は、若い世代が安心して従事できる、他産業の一般企業にも負けない企業的農業経営を目指す必要がある」という志に賛同した5戸の農家が集まって、平成18年10月に設立されました。目指すものは「自分たちが作った農産物を自分たちで売れる農業」、「自分たちが作った農産物の経費・利益を即答できる農業経営」であり、そのために様々な販路を開拓し、また、経営会議では、全て具体的な数字で話をするよう徹底しています。

現在の従業員は、役員を含めて社員が7名、パート4名です。株主は6名で、全員が会社のメンバーでもあります。全体の売り上げは、品目横断の補助金込みで約4,500万円です。

栽培部は、水稻・大豆部門、タバコ部門、施設部門の3つに分かれています。栽培規模はそれぞれ、水稻22ヘクタール（うち湛水直播が6.6ヘクタール）、酒米5.4ヘクタール、大豆5.1ヘクタール、葉たばこ0.3ヘクタール、菌床しいたけ10,200床、原木しいたけ2,000本、ほうれんそう、さやいんげんがそれぞれ600m²（いずれもハウス1棟）です。会社は農地を所有せず、主に株主から借りて、土地の使用料を支払っています。

会社設立は簡単ではなかったとのこと。ファーム鶯へは4集落からメンバーが参加しましたが、折りしも、「品目横断的経営安定対策」がもうすぐ始まるという時期であり、各集落から、集団営農の中心となるべきメンバーが抜けることに、当初は強い反発がありました。そこ

で、メンバーが抜けても、それぞれの集落で集団営農が成り立つように調整を重ね、会社設立にこぎつけました。

また、農地や設備・農機等、各自が持っているものを提供して会社を設立するのですが、持ち寄った設備も土地の広さもまちまちであるため、人によって様々な損得が生じ、これを評価し調整しようとすると、極めて複雑な作業になります。結局、全員が、損得勘定を脇に置いて協力し合うことで一致し、会社を始めることができました。

前社長の強力なカリスマの下、一致団結して始まったファーム驚ですが、大変残念なことに、社長の木村耕一さんは、平成 20 年 3 月に急逝されました。今後どうするかという話の中で、三浦さんが顧問として加わることになりました。現在は、四半期ごとの経営委員会（全株主・顧問参加）と、毎月の企画委員会（全役員・顧問参加）で、会社方針を決めて運営しています。もちろん、創業時の思いは少しも変わりなく、現在の経営に活かされています。



会社の前を流れる久保田川
ここを鮭が遡上します

こだわりのお米「うぐいす初恋物語」

ここで、ファーム驚の特長である、こだわりのお米栽培を紹介します。

この地域の米は、久保田川の清流で育てられ、元々「おいしい」と評判でしたが、前社長の木村さんは、「元気な田んぼが、おいしいお米を作る」と考え、更においしく、安心安全な米作りを目指しました。元気な田んぼにするため、田んぼから取れる有機物（稲わら・もみ殻・米ぬか）を 100%田んぼに還すことと、出来るだけ有機肥料を使うことの 2 点に取り組んでいます。土質の良いところから優先して実施し、現在 2 年目ですが、目指す状態で安定させるまでには、始めてから 5 年くらいはかかると考えています。

肥料を作っているところを案内してもらいました。もみ殻、米ぬか、大豆かすを混ぜ合わせ、シートをかけて発酵させます。低温（通常は 35 くらい）でじっくり発酵させるのがポイントで、温度を上げすぎるとはよくありません。様子を見ながら攪拌することで、温度を一定に保ちます。水田 10 アール当たり 4 トンを投入するとのことです。この堆肥は秋に仕込んで、翌春に使用します。現状では、もみ殻全てを堆肥にすることは出来ないのですが、将来的には全て投入する予定です。



発酵中の有機肥料(60アール分)

なお、余ったもみ殻は別の場所にまとめて保管してあります。こちらは、3 年寝かせると田んぼにそのまま戻すことが出来るので、堆肥と併用します。もみ殻は、捨てるとなると産業廃棄物となり、処分費用がかかるので、もみ殻の利用はコスト削減にもなります。



元気な田んぼは、鳥海山をバックに
広々としていました

さて、こうやって、田んぼからとれた有機物を100%田んぼに返し、更に減農薬栽培（慣行の50%減）で栽培したこだわりのお米を、「うぐいす初恋物語」と名づけ、販売しています。なんでも、鶯の鳴く頃に山で、専務が素敵な女性に巡り会えた・・・と何ともロマンチックなエピソードを聞かせていただきました。これが、「うぐいす初恋物語」の名前の由来だそうです。

「うぐいす初恋物語」に使用されるお米の品種は、「あきたこまち」と「ひとめぼれ」です。平成21年度は、それぞれ30アールで栽培しました。この企画は、三浦さんが顧問をしている池田薬品商事（株）と提携して実施しており、宣伝も当社が担当しています。店頭販売のほか、

インターネット販売も始めました。

うぐいす初恋物語の宣伝ページ：<http://www.ikeyaku.co.jp/eventa/item.cgi?light&49>

（池田薬品商事(株)のホームページ内）

地元の銘酒を支える酒米栽培

ファーム鶯では、地元の酒造会社である株式会社齋彌酒造店との契約栽培で、銘酒「由利正宗」用の酒米を栽培しています。同社の日本酒は、平成に入ってから全国新酒鑑評会で11回の金賞受賞と、秋田県一位の実績とのことです。由利正宗のうち、特に「雪の茅舎（ゆきのぼうしゃ）」シリーズは、東京でも大人気の銘酒です。また、旧由利町限定の「百竜（ひゃくかまど）」というブランドのお酒をつくっているそうです。

ファーム鶯では、由利正宗に必要な酒米の半分近くを供給しており、お酒の高い品質を支えています。また、常務が蔵人として、半年に渡って酒造りに参加しており、自分の作った酒米が実際に使用されているところを体感しています。

しいたけ栽培は冬場の経営の柱！

株式会社では、社員の仕事を一年中確保する必要があります。ファーム鶯における冬場の業務の中心が、しいたけ栽培です。前社長の木村さんは水稲と原木しいたけで日本農業賞を受賞しており、その高い栽培技術を会社に導入したのが始まりです。

現在では、原木栽培ではなく菌床栽培が大半を占めており、暖房施設のあるハウス内に10,200床の菌床を並べ、12月～3月の間、収穫しています。菌床栽培を採用したのは、収穫量が安定し、作業性も良いという利点があるためです。

菌床とは、おがくずを固めたものにしいたけの菌糸を植えたもので、シーズン中は何回か繰り返し収穫できますが、1シーズンで使い切りになります。古い菌床は肥料にするほか、



収穫後のしいたけの菌床
水をかけるとまた生えてきます

乾燥させて暖房用の燃料に活用し、燃料費を節約しています。

現在、しいたけの価格は安定しており、(平均でパックあたり80円程度)、売り上げは年間720万円で、収益性もよく、更に販売拡大の余地があります。そこで、周年栽培が出来る施設について、平成22年8月の完成を目指して計画を立てています。しいたけの菌糸は30を超えると死んでしまうので、冷暖房完備の施設になるとのことです。



しいたけのパック

様々な経営戦略で成長を目指す！

このように、様々な工夫で売り上げを伸ばしているファーム鷲ですが、全員が会社専従で食べていくには、更に事業規模を拡大する必要があります。現状では、社員の収入は、基本給、手当、ボーナスであり、株主については、会社への借地料や配当金がかかります。しかし、基本給がまだ十分ではないので、若手社員には兼業を認めています。

「若い世代が安心して従事できる会社」という理念を実現するために、現在のファーム鷲の3つの目標は、法人利益の向上、社員の給与アップ、福利厚生充実です。そのためには、これまで以上に収益を上げることが必須であり、生産面、販売面、経営面、社員教育のそれぞれについて、様々な施策を実行中です。

生産面では、農地の集積化、農産物の生産量アップ、生産コストの削減が重要です。ファーム鷲では、農地を久保田地区に集積しています。現在の農地集積率は70%ですが、これを80%にまで高めるのが目標です。農地面積の目標は60ヘクタールで、ここまで規模が拡大できれば、十分な収益が得られると考えています。また、収益アップのために、利益率の高い作物への重点化を計画しています。しいたけの周年栽培計画は、その一環です。コスト削減については、資材を一括購入することで、単価を下げる工夫をしています。メンバーが保有している設備や農機の持ち寄り、設備投資を抑えることに大きく寄与しています。農薬については、作業の効率化のために、無人ヘリコプター散布ができる湛水直播向けの水稻一発除草剤が欲しいとのことでした。

販売面では、「うぐいす初恋物語」の更なる栽培拡大を計画しています。また、営業販売部を置き、新たな販路を拡大すべく、営業活動を続けています。最近、池田薬品商事(株)が経営する介護施設にも納入することが決まりました。

経営の安定化では、資本金の積み増しによる運転資金の確保が、まず挙げられます。発足時の資本金は50万円でしたが、現在は950万円です。無借金経営で、十分な運転資金を確保しています。また、長期的な経営計画を立て、計画的に設備投資をしています。特に、毎年の減価償却費をほぼ一定に推移させるのが重要とのことでした。

更に、販売先の多角化を進め、リスクを分散しています。特に、主要品目の米の販売先は、酒造メーカー、直接販売、飲食店・中食、JA・流通業者の4種類に大別されます。

社員教育は、会社が持続的に成長するには欠かせません。経営委員会は全社員が参加し、経営状況を把握します。特に、将来、会社の中心となる若手の経営能力を向上させることが最重要課題であり、三浦さんは3年計画で教育を進めるとのことです。

収穫祭で地域と交流

設立からまだ3年ですが、地域の方々との交流にも力を注いでいます。農地の提供をはじめ、会社の発展には地域の協力が欠かせないので、日頃の感謝を込めて、毎年、収穫感謝祭を行っています。実際に作物の収穫作業を体験してもらったり、餅つきや試食会などを実施するなど

して、地域の皆さんとの交流を深めています。また、地元中学校の職場体験学習も、積極的に受け入れています。その他には、地元の第三セクターである由利高原鉄道 鳥海山ろく線の駅の草刈りなどの奉仕活動にも参加しているそうです。

あしがき

お話を伺った印象では、栽培面では高い栽培技術もあり、高い付加価値の農産物もあって順風満帆ですが、経営面ではまだまだ発展途上であり、会社を起こして軌道に乗せる大変さを改めて感じました。ただ、次の世代のためにあえて困難な道を選び、理想に向かってまい進する姿に感銘を受けました。皆さんの様々な努力が実り、ファーム鶯が順調に発展することをお祈り致します。

元気な田んぼに実る美味しいお米、「うぐいす初恋物語」を是非食べてみたいです！

この取材は、池田薬品商事株式会社 天明 仁 様のご協力で実現致しました。
改めて御礼申し上げます。

(南・手塚)



取材に向かう途中で撮影した鳥海山です
一瞬だけ、その美しい姿を見せてくれました

[目次へ戻る](#)

住化アグログループ紹介 **住化農業資材株式会社**

大好評！SNZ ファインフィルター 50 200M, 120M

エレメントを覆う特殊繊維メッシュの効果で「ろ材」洗浄が簡単！

昨年来、住化農業資材・オリジナルろ過器「SNZ ファインフィルター50」が全国的に好評を博しています。「ろ材洗浄が簡単！」の利便性が、生産現場に浸透してきた事が主因と言えます。

灌水、散水には、使用原水の“ろ過”が不可欠です。しかし、ろ過器には「ろ材の洗浄」が付きまとい、長年にわたり、生産者の皆様に悩ませてきました。

「洗浄が面倒！いや困っている！」との切実な生産現場の声に対し、灌水資材メーカーとして何とかお応え出来ないか？！と開発に至った製品が「SNZ ファインフィルター50」なのです。

最大の特徴である従来のディスクエレメント部を覆っている「特殊繊維メッシュフィルター」は、ゴミの付着しにくい特殊な表面形状を持ち、

- (1) エレメントへのゴミの侵入を防止する
- (2) ろ材の手洗い時、表面についたゴミ離れがよいので、水を表面に掛けるだけで取れる
洗浄回数が従来と同数の場合でも、1回あたりの洗浄時間が大幅に短縮
- (3) フィルター内部の満水状態から排水する事により、概ね「ろ材洗浄」ができる

など、SNZ ファインフィルター50 に他のろ過器と一味違う特長をもたらしました。

近頃は生産現場で「導入して本当に助かった！」とかえってお礼をいただく機会も多く、「生産者さんのお役に立てた・・・」と、弊社としては大変嬉しい限りです。

ろ過器の需要に対し、ぜひお褒めいただきたい製品(自信作)です。



SNZファインフィルター50



現場での使用例

製品仕様

- ・タイプ 特殊繊維・200メッシュの200M、120メッシュ・120Mの2タイプ
- ・接続口径 2タイプとも50mm
- ・耐圧 ~ 1MPa (適正使用圧力 ~ 0.5MPa)
- ・最高流量 ~ 400L/分 (適正流量 ~ 200L/分)
- ・適応水源 200M・・・井戸水など 120M・・・河川、用水、畑漑用水など
- ・設置 専用の別売架台で上向き設置
- ・その他 別売圧力計、特殊繊維メッシュフィルターも部品として別売あり

お問い合わせはこちらまで！住化農業資材(株) 灌水資材部 TEL：06 6204 1241
ホームページ URL： <http://www.sumika-agrotech.com/irrigate/index.html>

食の安全性について考える(15)

農薬取締法と農薬の適正使用について



イラスト 加藤さん

農薬を取り扱うにあたり、大きな3つの安全性が問われることになる。

第1は、農薬の取扱者すなわち農薬の製造、散布作業などに従事している者が被害にあう場合。第2に、農薬が作物に残留し、それが摂取されて人体に影響を及ぼす場合。第3に、農薬が自然環境や生態系に及ぼす影響などについてである。特に、近年は環境運動の高まりとともに農薬への関心も一段と強まっている。それらのことを踏まえ、農薬の安全性について、わかりやすく解説した農薬工業会編「なるほど! なっとく! 農薬Q&A」をしばらく掲載したい。(古津)

Q 病害虫のついた農作物は安全ですか？

A 病害虫に侵された農作物は、ときに安全性上の問題を起こすことがあります。病害虫の攻撃に対抗するために植物自身が生成する防御物質(ファイトアレキシン、アレルギー原因タンパク質)や、病害自身が作り出す毒素、などが人畜に影響を与える可能性があります。

植物は動くことができず、外敵から逃げることもできません。このため、害虫にかじられたり、汁を吸われたりすると、被害が広がらないように、その部分が固く石化したりすることがあります。

病原菌に侵された時には、対抗する抗菌物質を体内で作成し、被害を抑えようとすることもあります。この天然の抗菌物質をファイトアレキシンと呼んでいます。抗菌物質は加害する病原菌にとって有害だけでなく、作物が苦味などを強める場合や、いくつかの抗菌物質は人間にも有毒なことが知られています。

最近の研究では、病害虫に侵された作物には食物アレルギーを引き起こす物質がかなり増加していることも分かってきました。植物は病害虫による加害などのストレスが加わると、様々な防御物質を作る事、例えばりんごでは病害、大豆では害虫による知見がそれぞれ報告されており、その防御物質としてアレルギーの原因になるタンパク質が含まれていることが報告されています。

また、農薬等で防除しないと、植物に被害を与える病原菌が人にも影響を与える毒素(かび毒)を作る場合もあります。例えば麦類につく赤かび病はデオキシニバレノール(DON)というかび毒を作ります。DONは動物実験で成長抑制、体重低下、免疫抑制等健康への影響を与えることが確認されており、平成14年に厚生労働省は小麦中のDONの暫定基準値(1.1ppm)を設定しています。また、熱帯から亜熱帯地域にかけて生息するかびの一種、アスペルギルス・フラバスなどが生成するアフラトキシンには、強い発がん性があることが知られています。アフラトキシンは少なくとも13種類(代表的なものはB1、B2、G1、G2、M1の5種類)に分かれますが、毒性はB1が最も強く、食品からは検出されてならない、とされています。

参考資料

* 日本植物防疫協会『病害虫と雑草による農作物の損失』2008

* 新農林技術新聞『病害だけでなく虫害でもアレルギー増加』2008年6月25日

[目次へ戻る](#)

今月のお奨め農薬

細菌性病害の防除

「i - 農力だより」(55号)の「今月のお奨め農薬」では、植物の病害も害虫と同様多種多様で、病原体の種類で見ると、糸状菌、細菌、ウイルスがあることを紹介しました。

糸状菌はいわゆるカビで、植物の病害の大多数は糸状菌が原因で、成長すると肉眼でも見えますが、細菌は単細胞の生物で、分裂して増殖し、肉眼で確認するのは困難です。この「見えにくい敵」である細菌が引き起こす病気を細菌性病害と呼び、防除の困難な植物病害の多くが、この細菌性病害に含まれます。細菌性病害はイネ、野菜類、果樹類をはじめ広範な作物で発生します。病害が発生した場合、その防除にはそれが何によって引き起こされているかを診断する必要があります。細菌性病害に限らず、糸状菌やウイルスに侵されても、植物は外見上なんらかの病徴を示します。細菌そのものは「見えにくい敵」ですが、細菌が植物に侵害する場所や侵害する方法はそれぞれの細菌で一定で、特有な病斑を形成します。この特有な場所、病斑等に基づいて、どのような病害であるかを診断します。細菌性病害には、主に次のような病徴があります。



スターナ水和剤

- 斑点病：葉に斑点を生じる。
- 葉枯病：葉に大型の葉枯れ症状の病斑を生じる。
- 条斑病：稲などの单子葉植物の茎、葉に線状の病斑を生じる
- 軟腐病：葉が軟化腐敗し、ドロドロ状態になり、しばしば悪臭を伴う。
- 導管病：細菌により導管が塞がり、植物全体が急激に萎れ、枯死する。
- 枝枯病：樹木の枝が侵され枯死する。
- がんしゅ病：組織が異常成長して「がんしゅ」や「こぶ」を生じる。

このような細菌性病害の防除にはスターナ水和剤をお奨めします。細菌性病害の主な病原細菌は *Pseudomonas* 属、*Xanthomonas* 属、*Agrobacterium* 属、*Erwinia* 属、*Clavibacter* 属、*Curtobacterium* 属の6種とされており、スターナ水和剤はこれらに属する細菌の多くに高い活性を示し、多くの作物での細菌性病害に効果が確認されています。現在、スターナ水和剤に適用のある作物と病害は以下の通りです。ラベルの表示内容をよく確認して、上手に細菌性病害を防除してください。病勢が進行してからでは効果は期待できませんので、発病前からの予防的散布をお奨めします。

- 稲：もみ枯細菌病、苗立枯細菌病、褐条病、葉鞘褐変病、内穎褐変病
- なし：枝枯細菌病
- はくさい：軟腐病、黒斑細菌病
- レタス：軟腐病、腐敗病
- だいこん、キャベツ、ブロッコリー、カリフラワー、はなっこりー、ねぎ、たまねぎ、ばれいしょ、エンダイブ、セルリー、パセリ、にんじん、チンゲンサイ、アスパラガス、らっきょう、さんとうさい、カラー：軟腐病
- こんにゃく：腐敗病
- もも：せん孔細菌病
- うめ：かいよう病
- たばこ：空洞病

また、バリダシン液剤も細菌性病害に効果を示し、特に「なす」の「青枯病」では生育期の茎葉散布剤としては唯一適用のある薬剤ですので、ご利用ください。(山脇)

[目次へ戻る](#)

今月のご相談から

**「粘着くん液剤」を「いちご」のハダニ防除に使用した場合、
天敵のチリカブリダニに対して影響はありますか？**

Q 1 . いちごのハダニ防除にチリカブリダニを使っています。
粘着くん液剤の上手な使い方を教えてください。

A 1 . 粘着くん液剤を「チリカブリダニ」に直接散布すると卵以外の各ステージに影響がありますので、チリカブリダニ放飼直後などでの全面散布は避けてください。

上手な使い方

本剤は残効性が短いので、チリカブリダニを放飼する前にハダニの密度を下げるために散布することは有効です（本剤は極めて速効的です）。

チリカブリダニが十分増加した場合には、部分的にハダニが多く生息する部位への**スポット散布**も有効です（本剤は散布回数の制限がありません）。



ハダニ類の被害が進むと・・・
株の生育が止まり、ひどいときは枯死する

Q 2 . タバココナジラミが媒介する「トマトの黄化葉巻病」が問題になっていて、化学農薬だけでは抵抗性が問題となると思い、粘着くん液剤も使用してみたいと思っています。しかし、散布液でトマトの果面がベタついたり汚れたりする心配はありませんか？

A 2 . 粘着くん液剤を100倍に希釈すると、**サラッ!**としていて、しかも速やかに乾くのでベタつくことはありません。なお、散布後に部分的に「でんぶん」の粉が点々と残ることがありますが、目立つ量ではありませんし、比較的短時間に剥がれ落ちますのでご安心下さい。

Q 3 . 粘着くん液剤は「ミナミキイロアザミウマ」に効果がありますか？

A 3 . 残念ながら、ミナミキイロアザミウマには実用的な効果がありません。この成虫は飛び回っているため、たまたま粘着くん液剤の薬液がかかれば殺虫効果を示す場合もありますが、増殖を抑制するまでの効果は期待できません。
ミナミキイロアザミウマの防除には、ダントツ粒剤、ダントツ水溶剤や、ベストガード粒剤、ベストガード水溶剤が有効です。

Q 4 . 粘着くん液剤を希釈する場合、展着剤を加用する必要はありますか？

A 4 . 粘着くん液剤の場合、「展着剤」の加用は必要ありません。粘着くん液剤には展着剤の働きをする界面活性剤を含んでおり、害虫の体や植物の葉裏にうまく広がるように工夫されています。

Q 5 . 粘着くん液剤を散布後に「降雨」がありました。再散布の必要はあるのでしょうか？

A 5 . 粘着くん液剤を散布後、10～20分（露地条件）の短時間で散布液が乾き、その時点で100%効果を発揮しているため、薬液乾燥後は降雨量の多少に関係なく影響しません。従って、薬液が乾いた後の降雨であれば、再散布の必要性はありません。ただし、散布前の降雨で植物が濡れていたり、散布中に降雨があった場合は効果が落ちる原因になるので、このような条件での散布は避けてください。



粘着くん液剤

(小川)

[目次へ戻る](#)

新コーナー

お役立ちプチ情報

今月の話題は…

散布液の調整・散布後の後始末及び保管と廃棄

散布液の調整・散布後の後始末及び保管と廃棄

1) 散布液の調製

散布液の調製前に必要量を確認し、過剰に調製しない。散布液は圃場で使い切る。万一、散布液が残った場合、散布むらの調整等に使用して河川、用水路、下水等に廃棄しない。

2) 容器内に付着した農薬

袋状の容器の場合 ……袋を軽くたたいて、容器内に農薬が付着していないこと確認し、たたんで保管する。
瓶や缶状の容器の場合 ……容器内を水で3回以上洗浄し、洗浄液は散布液に加える。容器内の水をきり、保管する。

3) 散布機具等の洗浄液の処分方法

圃場内で農作物を植え付けていない土壌表面に散布するか、廃液処理装置で処理する。

4) 付着農薬を除去した空容器の処分方法

ラベルを取り除き、下記のいずれかの方法で処分してください。

- ①使用者自身が許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
- ②市町村が回収・処分しているところは定められた方法に従う。
- ③地域共同で回収処分体制が確立している場合は、これに従う。

5) 容器内に残った農薬の保管と使用

容器内に農薬を残したままで廃棄しない。
残った農薬を河川、用水路、下水等に廃棄しない。
誤用、誤飲、誤食のおそれがあるので、残った農薬を他の容器に移しかえない。
元の容器のまま密封し、食品や飼料と区別して、鍵のかかる場所に保管する。有効期限内に使用する。



6) 農薬の廃棄方法

期限切れなど、やむを得ず廃棄する場合は、下記のいずれかの方法で処分してください。

- ①使用者自身が許可を受けた廃棄物処理業者に委託する。
- ②市町村が回収・処分しているところは定められた方法に従う。
- ③地域共同で回収処分体制が確立している場合は、これに従う。

お客様相談室にお寄せいただいたお問い合わせを参考に、農薬を使用する上でのポイントや基礎知識等をまとめました。

農薬の河川、下水等への廃棄は厳禁

新コーナー 3回目です。農薬の散布液、容器内の洗浄液、期限切れ品は適正に処理し、河川、下水等に廃棄することは絶対やめてください。

今回は・・・農薬の安全性についてです。お楽しみに

(山脇・手塚)

[目次へ戻る](#)

農薬登録情報

1月20日の主な適用拡大の内容です


適用拡大
ダントツ剤関連が適用拡大になりました

種類	薬剤名	変更点	作物	病虫害名/ 使用目的	使用量ほか	
殺虫剤	ダントツ水溶剤	作物追加	ブルーベリー	アブラムシ類	2000倍 200~700 /10a	収穫45日前まで 3回以内 散布
				ケムシ類	2000 ~4000倍 200~700 /10a	
		害虫追加	チンゲンサイ	ハモグリバエ類	2000倍 100~300 /10a	収穫14日前まで 3回以内 散布
		害虫追加	ブロッコリー	コナガ	2000倍 100~300 /10a	収穫3日前まで 3回以内 散布
		害虫追加	かんきつ	ミカンコナジラミ	2000倍 200~700 /10a	収穫7日前まで 3回以内 散布
		害虫追加	茶	ミカンゲコナジラミ	2000倍 200~400 /10a	摘採7日前まで 1回 散布
		害虫名 変更	かき	チャノキイロアザミウマとカキクダアザミウマ アザミウマ類に変更		
		使用方法 追加	きく	アザミウマ類	4000倍 1/m ²	発生初期 4回以内 生育期株元灌注
	ダントツ粒剤	作物追加	セルリー	アブラムシ類	2g/株	定植時 1回 植穴処理土壌混和
			だいず	アブラムシ類	6kg/10a	は種時 1回 播溝処理土壌混和
			らっきょう	ネギアザミウマ	6kg/10a	収穫21日前まで 2回以内 株元散布
		害虫追加	稲	ニカメイチュウ	3kg/10a	収穫7日前まで 3回以内 散布

殺虫 剤	ダントツ粒剤	使用量 変更	きゅうり なす メロン トマト ミニトマト	アブラムシ類	1~2g/株	定植後 但し、収穫 前日まで 3回以内 株元散布	
			かぼちゃ	アブラムシ類	1~2g/株	定植時 1回 植穴処理土壌混和	
	使用時期 変更	トマト ミニトマト	既登録の「鉢上時」と「育苗期後半」をまとめて 「育苗期」とする				
	ワンリード箱粒剤 08	使用時期 使用方法 追加	稲(箱育苗)	「は種前」の「育苗箱の床土に均一に混和する」 を追加			
		害虫追加	稲(箱育苗)	ウンカ類	既登録のイネミズゾウムシ、 イネドロオウムシと同様		

(佐伯)

[目次へ戻る](#)

病害虫発生情報

1/9 ~ 1/18

愛知県

*1月15日 特殊報 食用ミニバラ / バラハオレタマバエ

当社登録薬剤: 該当なし

詳細は: <http://www.pref.aichi.jp/byogaichu/>

適用内容を確認して、地域に適した薬剤をお使いください。



(小川)

[目次へ戻る](#)

最近の「お・・美味しい！」

弊社相談室から佐伯がお送りします
最近の「お・・美味しい！」
女性の目・主婦の目・はたまた酒呑み??の目(笑)で、
毎月「これぞ！」というものを紹介します。
どうぞお楽しみに♪♪♪

弁当持参は一石三鳥！

本年お初の「お・美味しい！」です。今年も皆様、どうぞ本コーナーをご最前に！！

さて、新しい年が明けました。1月って、気持ちも新たに清々しい気分になるものですよね??でも私、実は先日まで「このままでは・・まずい！」と、一人焦っておりました。何がまずいって?そりゃもう、あれですよ。「年末年始の不摂生および暴飲暴食による体重増加」!!(苦笑)年末はそれだけでなく忙しいもんだから食事が乱れるし、年始は年始で、夫婦の各実家に連日出かけて挨拶へ行くと、そこでまた「しこたま」お節やお酒やらが振舞われるわけで・・こっちも油断して「わーい!いただきます」とばかり、食べる食べる、呑む呑む。そうなると、当然太りますわな。しかも加えて今年は初出社の前日に風邪を引いたもんだから、寝すぎで顔もムクむ。ムクむ。1月の最初の1週間は、それこそ人相まで変わっちゃって大変でした(悪夢・・)。

「ま、普通の生活に戻れば、落ち着くだろ・・」と思う反面「もしかして、もう(あんまり若くない)このまま戻らなかつたりして!？」と焦る日々。その結果、プチダイエットをやりようと思ったわけです。そこで、「お正月は食べすぎで胃が大きくなっているから、まずは胃を小さくせねば・・」ということで、とりあえず「食事を腹八分目にしよう!」と考えたのです。夜ご飯は自分で作るのでセーブできるけど、問題は昼!!お昼は普段、会社の食堂で普通にお腹一杯になるようなメニューを選んで食べるのですが、それでは理想の腹八分にならない・・。そうか、弁当持参すればいいのか!ということで、しばらく弁当持参生活が始まりました。毎日の義務!としてしまうと大変だけど、おかずが余ったときに持っていけばいいやくらいに考えれば気も楽です(今までもそうし



弁当一例

持参はおかずだけ。
味噌汁と小ライスは食堂で購入
します。(温かいものが食べたい)

ていたし)。しかも、月・火といった、まだ一週間のうち「元気がある」日に、作り置きを作っておけば、週の後半になっても弁当箱に入れるものがあるので挫折しません。弁当は量が調節できると、何より節約になるし、弁当を持っていくために自炊もしっかりすることになり、まさに一石三鳥といった感じです。ただ、昼と夜とで同じものを食べることになるため、使う食材を多くしたり、いろいろな味付けでバラエティー豊かにしたりしなければならず、メニューを考えるのがちょっと手間です。しかしそれも結局、健全な自炊生活につながるので、結果的にはOKですね。

弁当生活も2週間ほど経ちました(本原稿は1月半ばに執筆)。結果、体重も



このように
作り置きが大活躍!

見た目も年末前にどうやら戻ったようで、(ホント)一安心!!しかし新年会!とか打ち上げ!など、不摂生要因は消えるわけではなく、いつ後戻りするかわかりません(おそろしい・・!)。ということで、腹八分の弁当持参生活は、もうちょっと続けようと思います。といっても今までも気が向いたら持参していたので、今後はもうちょっとその頻度を増やしたいところ。「無理せず気楽に」。これが長続きのコツかもしれませんね。

(佐伯)



作り置き例: 煮卵、
エドとマッシュルーム
と豆のマリネ

[目次へ戻る](#)

コラム・そば談義 61

昨年の目標は「そばを人前で打つ」ということで、都内はもちろんだが大阪にまで足を伸ばした。

そのために、思いもかけないことが色々起こった。その一つに、あるお宅でそばを打ったときはテーブルで打つのでなく、座卓に座って打つことになったのである。座って打つのは初めてなので、うまく打てるのかどうか心配したが、『案ずるより産むが易し』で、やってみると問題なく打つことが出来た。また、こんなこともあった。女房の実家でそば振る舞いをしようと打ち始めたが、しばらくして「こま板」を忘れてきたことに気付きかなり慌てた。その時、女房は落ちついたもので、素麺の木箱（空き箱）をどこからか探してきて、これを駒板代わりにとすすめるのである。私はしびしび麺体の上にそれを載せて切り始めると、なんと駒板と同じように（それ以上？）リズムよく切ることが出来たのである。この時ばかりは感謝である。そして、食べた人達が美味しいと喜んでくれたことで、そば打ちに大阪まで行ってよかったという思いが湧いてきた。特に、帰りの高速道路のサービスエリアで富士山を見ているとその思いを強くした。そんなことを含めて、この一年でそば打ちが少し上達したように思う。

大晦日には恒例となりつつある年越しそばを 30 食分打って、何とか一年を締め括ることが出来た。でも、まだまだそば打ちの技術は未熟である。いつも、そばを打つ度に歯がゆい思いをしていることがある。それは規格通りにそばを打つことが、まだ出来ないことである。毎回のように本コラムでそば打ちのことを書いているが、綺麗に揃ったそばは正直言って打てないのである。例えば、伸ばした生地 of 四隅が直角にならない。延し棒の使い方が下手で時々生地が破れる。麺体の長さが規定の長さに届かない。切り幅が 1.5mm に揃わないなどである。

そこで、大胆にも今年の目標は“規格どおりのそばを打てるようになる”である。これは今年だけの目標でないことも確かである。この目標に近づくためには、捏ね鉢、麺棒、そば包丁を含め道具をいかに使いこなせるようになるかである。それには自分の手に道具が馴染むようになるまで打つしかないと思うのである。その証拠にそば職人の道具は駒板などにくっきり三本の指の跡が残っている。そのぐらい何回も打つことで、手に道具が馴染むようになるのであろう。それとともに、最後まで神経を集中することも一層大切である。その為には座禅を組んで精神統一が出来るよう修行することも必要かと考えるのである・・・（古津）



イラスト：川俣さん

～ 編集後記 ～

今月の編集後記は、「農家さん訪問」に出かけた南が担当します。

突然ですが、私は野鳥好きなので、「ファーム鶯」の名前に惹かれるものを感じました。取材当日も、鳥海山を撮影した蕎麦屋さんの駐車場で鳴き声を聞き、ウグイスも撮影して記事に使おうと目論んだのですが、姿は確認出来ず、残念な結果に終わりました。ウグイス



ウグイス(イラスト:南)

という、きれいな緑色というイメージがあるかもしれませんが、実際は茶色がかったくすんだ緑色です。冬場は植え込みや草の茂みなど、意外と身近にいますが、この時期は舌打ちのような地味な鳴き声しかしないので見逃しがちです（私には「チッ、チッ」と聞こえます）。

野鳥は環境のバロメーターです。野鳥が安心して暮らせる環境を守りつつ、これからも農業の発展をお手伝いしたいと考える今日この頃です。

2010年1月(南)

季節の果物が当たる i-農力会員さん向けアンケート実施中！！奮ってご応募下さい！！

[目次へ戻る](#)